

参考 1 再整備に関する市場関係者意向

	水産物部	青果部
再整備 基本コンセプト	<ul style="list-style-type: none"> ・ 杜の都に相応しい市場整備が必要である ・ 環境への配慮やエネルギー対策が必要である ・ 働く人の快適な職場環境の整備が必要である 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 賑わい機能は他市場が必ずしも成功しているとは言えない
再整備後の 施設規模	<ul style="list-style-type: none"> ・ 将来的に、水産・青果に新たな機能が必要となった場合に整備可能な場所を確保することも念頭においてほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現状の卸売場の面積は、ピーク時には不足している ・ 仲卸業者用の荷置場を別途確保することができれば、卸売場の規模は縮小することも可能である ・ 卸売業者としては卸売場の利用を適正化したい ・ 荷置場の確保と使用料負担について、運用上の工夫も含めて検討が必要である
再整備後の 基本性能	<ul style="list-style-type: none"> ・ HACCPについては、費用負担等に不安がある ・ 他市場も参考に、仙台市場から輸出可能な衛生管理水準を目指すべきではないか ・ 賑わいに関して、理解醸成のための情報発信は非常に重要であるが、集客まで必要なのか分からない ・ 先行他市場の整備内容を踏まえ、不要な施設・設備等が導入されないように検討してほしい ・ 外部民間事業者に市場敷地を貸付け、収入を生み出し、再整備の事業に充当するという方法も検討する必要があるのではないか ・ 物流2024年問題により、仙台市場を経由した物流効率化と取引拡大等が期待される 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 衛生管理について、再整備時に過剰投資とならないようにしてほしい ・ スtockポイントについて、卸売場と一体で確保すれば卸売業者が使用料を負担することになるが、別敷地に整備する場合、仙台市との整備区分・負担区分をどうするか検討が必要である ・ スtockポイントの通年活用についても検討が必要である。卸売場との柔軟な併用も検討した方が良いかもしれない ・ スtockポイントの必要規模が十分には掴み切れていない
施設配置 (再整備案)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駐車場（買参人等取引先・待機トラック・従業員）や倉庫、冷蔵庫、事務所等について今後も検討が必要である ・ 冷蔵庫の位置や規模等については、卸売業者間でも協議が必要である ・ 動線形状や安全性を考えれば、正門位置は現在の場所から移設しない方が良い ・ パレットや発泡スチロール、ごみなどの資材・廃棄物、エネルギー等について今後も検討が必要である 	